

同門会 会報

第 11 号

平成 30 年 10 月

長崎大学医学部眼科学教室同門会



目次

雑感	村田 稔	1
還暦に際して	北岡 隆	2
総会・懇親会 報告		4
第9回 臨床研究奨励賞講演 抄録	山田 義久	15
平成28年 長崎大学眼科同門会 収支報告		17
平成29年 長崎大学眼科同門会 ゴルフコンペレポート		20
物故会員		22
物故会員の先生を偲んで		
故 溝口 孝 先生を偲ぶ	三島恵一郎	23
医局よりお知らせ		25
次回総会および懇親会のご案内		27
編集後記	麻生 順子	28



雑感

長崎大学眼科同門会 会長 村田 稔

今年の夏はやはり異常だ。日中の高温はある程度予想もしていたし、必要以外は外出を避けて自分なりに対策もして来たが、日が沈んでもいわゆる熱帯夜続きである。

熱中症患者が多発したのも当然であるがこうなると思考力が著しく低下する。特に高齢になるとなお更である。考えがまとまらない。思い出せない。これって認知症の初期？

天災もやたらに多い気がする。集中豪雨、大型台風の直撃、この文を書いている時に北海道にかなり大きな地震発生のニュースが飛び込んで来た。自然の怒りはすさまじいもので、いかに IT が発達しようともその度に人間の無力さを思い知らされるが、日本が何か神の怒りに触れるような悪い事をしているのだろうか？ただ何時も災害のたびに思うことは、犠牲になるのは罪のない善良な人々が多いようで何ともやり切れない。

5月の九眼で久し振りに医学部キャンパスに入った。見違える程整備され建物も立派なものばかり。こういう快適な環境で学ぶ医学生は幸せなんだろうか。勿論冷暖房付き？しばらく散策してみたが何となく圧迫感を感じ始めた。何故だろうと考えていたら、そうだ寝転べるような芝生が見当らない。我々の頃は昼休みにはよくゴロ々しながら雑談をしたものだ。古き良き時代だったのかなあ。

グラバー園での懇親会は良かった。幸に天気も回復して皆さん料理、歓談に楽しまれたことと思う。私が特に感動したのは海の方を見るために振り返ったところ、丁度対岸の稲佐山に夕日が沈むところだった。次第に薄暗くなっていく様子は名物の夜景とはまたひと味違った趣があった。

まだ日中は残暑が厳しいが今年のお宮日のココロデショーでも見物して英気を養い総会では元気な姿で皆さんとお会いしたいものである。

還暦に際して

長崎大学眼科学教室 教授 北岡 隆

還暦を迎え、先日医局でお祝いをしていただきました。

還暦という節目ではありますが、お祝いをしてもらえるとは思っておらず、私の誕生日である9月17日は空いていますか？と聞かれ、空いているけどと答えると医局で還暦祝いを考えていますとのことでした。大学病院近くの居酒屋で食事会くらいのお祝いだろうと思っていましたが、8月末になり詳細を尋ねると、料亭橋本で検番さんと呼び、参加者65名とのことで驚いてしまいました。もともと医局での還暦祝いを想定しておらず、還暦をお祝いしてもらうにしても家族でどこかに食事に行くくらいを考えていたので、恐縮するばかりでした。

数年前から和服に興味を持ち、いつ着るかわからないままに長着と羽織を2着用意していましたが、やっと日の目を見る機会となりました。しかし料亭での還暦祝いであれば袴も必須と思われ、急いで用意し、何とか間に合いました。今年は私にとって長崎に来て25年、教授に就任して15年で、その節目の年にかねてから考えていた羽織・袴の上に「赤いちゃんちゃんこ」を着る僥倖(?)に恵まれ、実際に橋本でのお祝いに望むと感激もひとしおでした。

還暦とは陰陽五行の十干十二支から来ているそうです。日本では十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)のうち最初のいくつかは実際によく使用されていますし、十二支には慣れ親しんでいます。その干支が60年で一周する(12と10の最小公倍数が60で最初に帰る)ということで(すべての組み合わせだと120になりますが、乙戌や甲亥はありません)、誕生年と同じ干支にかえるということにちなみ長寿をお祝いする慣習のようです。私の生まれ年である1958年は戊戌(つちのえいぬ、十干の戊と十二支の戌)で戌も戌も陰陽五行では土を表すそうで、同じものが重なるときはその勢いが増すそうです。例えば丙午(ひのえうま)は丙も午も火を表し、八百屋お七の生年と重なったため女性の生年は丙午が嫌われています。土は季節の移り変わりの節目をも表すようで、1958年は現天皇と美智子妃が婚約された年であり、東京タワーができ、エジプトとシリアがアラブ連合共和国となった(現在の二国間の状況からは考えられないような状況です)年です。来年は現天皇が退位され、東京タワーも東京スカイツリーにその役割を移しました。英語でone generationは30年を言いますが、60年というのは時代も1つの時代が終わる期間かもしれません。

眼科では大阪大学の故田野教授、杏林大学の故樋田教授、帝京大学の故河野教授も60前後で急逝されております。私自身も若いつもりではありましたが、五十代半ばから頸椎ヘルニア、腰椎ヘルニア、五十肩が出始め、左指の軽度のしびれ、腰痛、肩痛がありました。しかしこの1年はこれらの症状が改善しました。60年という年月はヒトにとって超えるべき山かもしれません。



総会・懇親会 報告

平成 29 年 10 月 21 日（土）ホテルニュー長崎におきまして、同門会総会及び懇親会が行われました。ご多忙の中 41 名の参加者があり、数多くの先生方にお集まりいただきました。

18 時 30 分より第 9 回となる臨床研究奨励賞講演会を開催いたしました。今回は、「糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固前後の血流変化」と題し、長崎大学の山田義久先生が発表を行いました。

その後、総会が行われました。開会の辞の後、物故者への黙祷を捧げ、会長の村田稔先生よりご挨拶がありました。世話人の松永伸彦先生より今年の経過報告が行われ、佐藤安雄先生より平成 28 年長崎大学眼科同門会収支監査報告が行われました。最後に長崎大学眼科学教室の現教授である北岡 隆 先生より教室の近況報告があり、総会は無事閉会しました。



講演中の山田義久先生



会長・村田先生

その後記念写真撮影をし、懇親会が開催されました。はじめに山之内卯一先生よりご挨拶をしていただき、次に乾杯を豊増典子先生にご発声いただき、祝宴が催されました。

高木敏博先生、藤川亜月茶先生からスピーチを頂戴し、新入局員の松永伸吾先生・梅津絵美先生・遠藤未紗先生・徳永理佐先生に挨拶をおこなってもらい、欠席の町田祥先生はビデオレターでの紹介となりました。最後に、万歳三唱を山下壯之助先生に行っていただき、懇親会は盛況のうちに終了いたしました。

世話人・松永伸彦先生



監事・佐藤安雄先生

北岡 隆 教授





山之内 卯一先生

豊増典子先生より
乾杯のご発声



総会進行
松本先生



後列左より：山本ム・豊増・山田京・山下・津田尚（以下敬称略）

前列左より：山之内卯・三島恵



後列左より：松屋・佐藤眞・助村

前列左より：村田・高木



後列左より：北岡・松永・三島
前列左より：山之内_宏・東・早田



後列左より：藤川・Yasser・栗原・松本
前列左より：梶山・築城・宮村・隈上



後列左より：草野・米田・松永^{伸吾}・井上^大
前列左より：山田^義・河野^良・植木・前川



後列左より：宮城・梅津・黒部・受付（坂井・浜崎）
前列左より：遠藤・徳永



スピーチ
高木先生



スピーチ
藤川先生



新人挨拶・松永伸吾先生



新人挨拶・梅津先生



新人挨拶・遠藤先生



町田先生

ビデオレターでの新人挨拶



懇親会進行
三島一晃先生



万歳三唱・山下先生





平成29年 長崎大学医学部眼科学教室同門会総会・懇親会 平成29年10月21日 於 ホテルニュー長崎

				山本ムツ子
		東 登陽三	Yasser Helmy Mohamed	山田 京子
	梅津 絵美	三島 一晃	佐藤真由美	津田 尚幸
山田 義久	遠藤 未紗	早田 義典	助村 房子	豊増 典子
松本 牧子	徳永 理佐	米田 愛	松永 伸彦	北岡 隆
隈上 武志	草野 真央	黒部 彩那	松屋 直樹	山之内 卯一
松永 伸吾	栗原 潤子	河野 良太	藤川 亜月茶	村田 稔
植木亮太郎	井上 大輔	梶山 彩乃	前川 有紀	三島 惠一郎
	宮城 清弦	宮村 紀毅	築城 英子	山下 壯之助
			山之内 宏二	高木 敏博
五列目	四列目	三列目	二列目	一列目

第9回 臨床研究奨励賞講演 抄録



糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固前後の血流変化

長崎大学 山田義久

【緒言】糖尿病網膜症は網膜循環障害を主体とし、汎網膜光凝固 (panretinal photocoagulation, PRP) は有効な治療法として確立されている。PRP 前後の網膜循環を測定することは、残存網膜の循環状態を知り、網膜光凝固の治療効果を評価できる可能性がある。そこで今回糖尿病網膜症に対し、汎網膜光凝固術前後の血流変化について検討した。

【目的】①糖尿病網膜症に対する PRP 前後の網膜血流変化を laser speckle flowgraphy を用いて評価する。②PRP 前後の平均動脈圧、眼灌流圧との相関についてそれぞれ評価する。

【対象】初回治療として PRP を施行された糖尿病網膜症患者

【方法】①PRP は Pattern Scanning Laser (PASCAL[®]) にて 3 回で完成させた。Spot size 200 μ m, spacing 0.75, power 120-550mW。②血流測定は LSFG を用い、視神経乳頭大血管の血流、網膜動静脈の分枝血管の血流を測定した。③以下の計算式を用いた。平均動脈圧=(収縮期血圧-拡張期血圧)/3+拡張期血圧、眼灌流圧=2/3 平均動脈圧-眼圧。

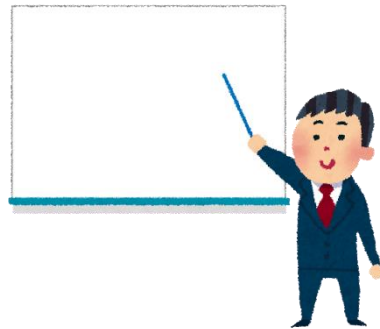
除外基準：角膜、中間透光体に混濁がある症例。PRP または硝子体手術既往眼。

【結果】症例は 26 例 35 眼。男性 25 眼、女性 10 眼、平均年齢 56 \pm 13 歳。増殖糖尿病網膜症 28 眼。PRP の 1st session は 1367 \pm 459 発、2nd session は 1471 \pm 473 発、3rd session は 1420 \pm 451 発、全体で 4258 \pm 461 発だった。視神経乳頭大血管の血流変化は、PRP 前を 100% とすると、1st session は 83%、2nd session は 79%、3rd session は 73%、PRP 後 1 か月は 75%、3 か月後は 75%、6 か月後は 80% ですべての時点で有意に血流低下していた ($p < 0.01$)。増殖糖尿病網膜症 28 眼中 22 眼で新生血管の活動性を抑制した。眼灌流圧は PRP 前後で有意な変化は認めず、網膜血流への影響は認めなかった。

【考察】過去の報告では中等度の増殖糖尿病網膜症に対しては、PASCAL[®] によって PRP を行うと平均 3998 発、重度の症例では平均 6928 発必要だった。本研究では平均 4258 発であり、同様の結果であった。また糖尿病網膜症に対する PRP 後の血流

は、本研究では70-80%に減少しており、過去には73%減少したという報告があり、同様の結果であった。血流減少と治療効果については今後検討が必要である。

【結論】糖尿病網膜症に対するPRPによって網膜血流減少を認めた。網膜血流を評価することにより、必要十分なPRP数、PRPの追加時期などを知ることができるかもしれない。





平成28年 長崎大学眼科同門会 収支報告

(平成28年1月1日～平成28年12月31日まで)

収入の部		
科目	金額 (円)	摘要
年会費	685,000	H28年:130名×5,000円 H27年: 3名×5,000円 H26年: 1名×5,000円 H25年: 1名×5,000円 H24年: 2名×5,000円
寄付	10,000	
預金利息	130	
懇親会会費	510,000	51名×10,000円
懇親会二次会費	4,800	
当期収入合計 (A)	1,209,930	
前期繰越金	899,672	
収入合計 (B)	2,109,602	
支出の部		
科目	金額 (円)	摘要
印刷費	540,000	
通信費	73,531	
弔慰費	95,718	
賞与	100,000	
諸手当	60,000	
総会・懇親会費	516,408	
雑費	1,669	
当期支出合計 (C)	1,387,326	
当期収支差額 (A-C)	-177,396	
次期繰越金 (B-C)	722,276	

内訳表

収入の部			
科目	金額 (円)	内訳	
年会費	655,000	H28年:130名×5,000円	650,000
		H27年: 3名×5,000円	15,000
		H26年: 1名×5,000円	5,000
		H25年: 1名×5,000円	5,000
		H24年: 2名×5,000円	10,000
寄付	10,000		10,000
預金利息	130	普通預金利息	130
懇親会会費	510,000	51名×10,000円	510,000
懇親会二次会費	4,800	1人2,000円会費徴収後の余り	4,800
支出の部			
科目	金額 (円)	内訳	
印刷費	540,000	1. 振込依頼書印刷	25,920
		2. 会員名簿印刷代	192,780
		3. 会報第9号印刷	321,300
通信費	73,531	1. 郵送料	56,216
		2. 葉書・切手	15,875
		3. レターパック代	1,440
弔慰費	95,718	嵩 則雄先生 弔電	3,704
		嵩 則雄先生 供花	21,600
		井上浩彦先生 香典	10,000
		徳永次彦先生 香典	10,000
		今村由美子先生 弔電	3,607
		今村由美子先生 供花	21,600
		溝口 孝先生 弔電	3,607
		溝口 孝先生 供花	21,600
賞与	100,000	築城英子先生 臨床研究奨励賞	100,000
諸手当	60,000	総会受付係 3名×10,000円	30,000
		事務費 (H28年)	30,000
懇親会費	516,408	ホテルニュー長崎 飲食代	516,408
雑費	1,669	1. のし袋・手提げ袋	967
		3. 振込手数料 4件	702

監査報告書

長崎大学医学部眼科学教室同門会の平成28年1月1日より平成28年12月31日までの財務報告書に付き、監査の結果が適正なものであると認めます。

平成29年10月6日

長崎大学医学部眼科学教室同門会

監事 佐藤安雄



監事 松屋直樹



平成 29 年長崎大学眼科同門会ゴルフコンペレポート

平成 29 年 10 月 22 日長崎国際ゴルフクラブにて、第 10 回同門会ゴルフコンペが開催されました。週末から超大型の台風 21 号が九州に接近し、同門会開催にも影響がでるのではと心配されましたが、何とか直撃を避けることができました。この台風は関西・関東各地に強風・大雨による甚大な被害をもたらしましたが、幸い長崎では強風のみで雨も全く降らず、ある意味ゴルフ日和となりました。ただし、これだけ風が強いとショットはもちろん、グリーン上でも皆さん大変苦労されたようですが、なんとか最後までラウンドできました。

台風といえば、今年 9 月の全日本眼科医ゴルフ選手権の時も、台風 16 号が日本列島を縦断したため開催が危ぶまれました。幸い大会前日に開催地の福島県を通り過ぎたため、何とかプレイすることができました。毎回のことではありますが、この大会でも散々打ちのめされ、かなり落ち込みましたが、今回はなぜか自分の実力はこんなものだと達観できるようになり、そうするとなんだかモチベーションまで上がって、来年もぜひ参加したいと思えるようになりました。

最後にこのコンペの協賛およびお世話をいただいたジャムコン(株)様には大変感謝いたします。来年もよろしくお願ひします。

コンペの結果は以下の通りです。(敬称略)

順位	競技者	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
1	松永 伸彦	41	41	82	9.6	72.4
2	松屋 直樹	54	49	103	30.0	73.0
3	佐藤 安雄	45	45	90	16.8	73.2
4	東 登陽三	51	57	108	33.6	74.4
5	津田 尚幸	48	46	94	19.2	74.8
6	藤川 亜月茶	55	53	108	32.4	75.6
7	助村 房子	49	48	97	19.2	77.8
8	三島 恵一郎	55	56	111	27.6	83.4
9	宮村 紀毅	57	44	101	10.8	90.2

ドラコン：アウト No.7 ニアピン：アウト No.4 イン No.11 全て宮村 紀毅

ベストグロス：松永 伸彦

文責 松永



後列左より：東・宮村・松永・津田尚・佐藤安
前列左より：三島恵・助村・藤川



物故会員

氏名	出身大学	卒業年	ご逝去日	対応
溝口 孝 先生	長医大	昭 29	H28.11.22	供花・弔電を手配
Emil Wu 先生	台湾大学 医学専門部	1947 (昭 22)	不明	

ご逝去されました会員の先生を偲んで、下記の先生に追悼文を執筆していただきました。ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

溝口 孝 先生 …… 三島恵一郎 / 故 溝口 孝 先生を偲ぶ



物故会員の先生を偲んで

故 溝口 孝 先生を偲ぶ

三島惠一郎

溝口孝先生は一昨年11月22日にお亡くなりになりましたが、長崎大学眼科同門会総会後でしたので、2年遅れの追悼文となり申し訳ございません。

しかし、先生は先輩として長い間、お付き合いいただき、相談にも乗っていただいた敬愛する先生ですので、拙文ですが、経歴、お人柄などを紹介し偲びたいと思います。

溝口孝先生は服装も姿勢も良く、品位があり、所謂、格好よく憧れの先生でした。患者さんからは勿論、周囲の方々からも信頼が厚く、佐世保市内では有名な先生でした。

先生の経歴ですが、旧制長崎医科大学を昭和29年(1954)に卒業され、故廣瀬金之助教授の門下生として入局されておられます。

私が眼科に入局したのは昭和34年(1959)4月ですが、当時、教室では多くの先輩は研究や博士論文書きで大変忙しく、溝口先生もそのお一人で、野球の練習の時などで世間話をする程度で、お付き合いする機会はありませんでした。

溝口先生は昭和35年2月に博士課程を終えられ、佐世保市民病院の眼科医長として出向されました。その時は、私は三菱崎戸鉦業所病院眼科で勤務していましたので詳細は存じませんが、その年の4月に日眼総会が長崎で開催される為、準備などで教室は大変忙しく、私も応援に呼び出され、溝口先生も見かけていました。

私は昭和37年3月に大学に戻りましたが、その年の4月に廣瀬教授が退任され、7月から新しく岸本教授が着任されました。

教授の交代で教室の空気は一変し、それまで基礎医学の研究が中心でしたが、岸本教授の専門分野は網膜剥離や緑内障など臨床が中心となり、研究も臨床中心に方向が大きく変わりました。

昭和40年6月に溝口先生が開業されたため、その後任に私が佐世保市民病院眼科に出向し、就任後は溝口先生からはいろいろご指導いただき、お付き合いする機会が増えました。

一方、岸本教授の緑内障の手術や白内障手術など術後が見事でしたので、その方法や検査方法などを勉強される意向が強く、しばしば、私は呼び出されて真剣に質問を受け、最後はご馳走にもなって帰っていました。

更に、溝口先生の趣味は茶道、骨董、刀剣、美術などハイクラスで、高価な感じで私の手が届くような品はありませんでした。羨ましく思っていました。

また、運動の方は剣道が 6 段クラスで医師会ではトップクラスでした。ゴルフは故宇野先生に誘われて始められ、ドライバーの飛距離は宇野先生や私は敵いませんでしたが、スコアでは宇野先生に敵わず、その後、少し体調を崩しゴルフを止められたようです。

社会的には佐世保市のロータリークラブの会長も務められ、銀行の頭取などにも信用があり、そのお陰で私の開業ができて現在の私があり、恩を感じています。

一方、長崎大学眼科の同門会の会長も一時就任されましたが、前教授の雨宮先生と意見の不一致が生じ、頑固に辞任されるなど、戦時中を経験された方々の一本気な一面もありました。その後は、佐世保市の眼科医会のお世話をなさっていました。

御息の溝口尚則先生が診療所を引き継がれてからも、しばらくは診療されていましたが、年を取るに従い、色々と大きな病気を患い、手術も受けられ、その後は静かに趣味に耽っておられました。

数年前、自宅を訪問した折は、寡黙ではありましたが、いつもの笑顔を見せられ、服装も姿勢も良く、品格も保っておられました。また、お会いできる日を願っていましたが残念です。

今でも私は佐世保の街を歩きますと、ふっと先生を思い出し寂しさを感じています。

ご冥福をお祈りしています。



医局よりお知らせ

平成29年10月以降の医局内の異動等は下記のとおりです。

異 動				
異動日	氏名	旧 勤務先	→	新 勤務先
H30. 4. 1	遠藤未紗	長崎大学	→	長崎医療センター
H30. 4. 1	佐藤健人	国内留学 (理化学研究所神戸)	→	長崎大学
H30. 4. 30	高畑太一	長崎医療センター	→	退職(たかはた眼科クリニック)
H30. 5. 1	松永伸吾	長崎大学	→	長崎医療センター
H30. 5. 7	梅津絵美	長崎大学	→	佐世保市立総合医療センター
H30. 5. 7	平田佑妃	佐世保市立総合医療センター	→	長崎大学
H30. 6. 1	丸田知央子	休職	→	長崎大学
H30. 6. 1	諸岡美智子	長崎医療センター	→	休職
H30. 6. 1	町田 祥	長崎大学	→	長崎医療センター
H30. 7. 1	徳永理佐	長崎大学	→	佐世保市立総合医療センター
H30. 7. 1	秋山郁人	長崎医療センター	→	長崎大学
H30. 7. 1	原田康平	佐世保市立総合医療センター	→	長崎大学
H30. 10. 1	黒崎智加	長崎医療センター	→	退職
H30. 10. 1	井上大輔	長崎大学	→	長崎医療センター
H30. 10. 1	丸田知央子	長崎大学	→	長崎医療センター
H30. 10. 1	遠藤未紗	長崎医療センター	→	上五島病院
H30. 10. 22	山田香菜子	長崎大学	→	産休

～関連病院スタッフ一覧～ (10月現在)

日赤長崎原爆病院	脇山はるみ、栗原潤子、米田 愛、黒部彩那
長崎あじさい病院	出口裕子
重工記念長崎病院	三浦陽子
井上病院	林田裕彦
諫早総合病院	時村源一郎
長崎医療センター	稲本美和子、井上大輔、松永伸吾、町田 祥、丸田知央子
佐世保市総合医療センター	藤川亜月茶、岸川泰宏、久保田 伸、梅津絵美、徳永理佐、田代紘子
佐世保中央病院	和田光代
五島中央病院	土井祐介
上五島病院	遠藤未紗

平成 30 年 10 月現在の大学病院外来予定

(※は、非常勤です)

	午前	午後
月	新患 (北岡、上松、木下 ^博 、山田 ^義 、佐藤 ^桂 、井上、佐藤 ^健 、秋山、原田 ^康 、宮城、平田) 黄斑 (築城、草野、前川)	造影 (FA/IA: 脇山 [※] 、築城、前川) (FAG: 松本、植木、宮城)
火	緑内障・一般再診 (限上、梶山、草野、植木、河野、佐藤 ^健 、秋山、原田 ^康 、平田) ぶどう膜 (山田 ^義 、原田 ^史 、大野、宮城) (嵩 [※] : 第四火曜日のみ)	ルセンチイス (梶山、松隈) 手術
水	新患 (北岡、松本、坂本、草野、山田 ^義 、佐藤 ^桂 、秋山、原田 ^康) 未熟児 (原田 ^史) 角膜 (今村 [※] 、上松、植木)	ルセンチイス (松隈、原田 ^史) 義眼 (木下 ^博 : 第四水曜日のみ)
木	糖尿病・循環・一般再診 (築城、梶山、松本、木下 ^博 、山田 ^義 、前川、木下 ^和 、松隈、植木、佐藤 ^健 、秋山、原田 ^康 、宮城、平田) 眼瞼 (麻生 [※] 、梶山: 第三木曜日のみ)	レーザー (河野) 涙道 (草野) 斜視・弱視 (上松、原田 ^史)
金	新患 (限上、坂本、木下 ^和 、松隈、植木、佐藤 ^健 、秋山、原田 ^康 、宮城、平田) 剥離 (梶山) 眼窩 (三島 [※] 、木下 ^博 、河野)	ルセンチイス (木下 ^和 、佐藤 ^桂) 手術

新患: 月・水・金


再診 (専門外来): 上記 (予約制)

受付時間: 8時半～11時

医局長: 松本牧子

外来医長: 木下博文

病棟医長: 上松聖典



次回総会のご案内

長崎大学眼科同門会総会および懇親会

日時：平成30年11月17日（土）18時30分より

場所：ホテルニュー長崎

長崎大学眼科同門会ゴルフコンペ

日時：平成30年11月18日（日）9時41分スタート

場所：長崎国際ゴルフクラブ

※案内状はすでにお送りしておりますので、ご確認ください

編集後記

麻生 順子

今年の夏は本当に暑い日が続いて文字通り“酷暑”“猛暑”でした。私が小学生の頃はクーラー（エアコンではなく）が無いお家の方が多く、あってもお客様用で普段使いすることは少なかったように記憶しています。夏休み、朝寝坊の好きな私はラジオ体操に行くこともなく惰眠をむさぼっておりましたが、今でしたら暑くてとても寝てられないでしょう。昼間も網を抱えて虫取りに興じ屋外を駆け巡り、帽子は被っていたと思いますが水筒を持って出かけていたかは記憶にありません。最高気温も30度程度だったと思います。ゲーム機も携帯電話もなくおやつと言えば自分で作るカキ氷、今日のシロップは何味にしようというのが唯一の変化という夏休みでしたが、今振り返ると何て贅沢な時間をすごしたことだろうと思わずにはいられません。“熱中症に気をつけましょう”“こまめに水分補給を”という台詞のもと、屋外で遊ぶこともままならない今時の子供達は大変だなあとと思います。

9月に入りやっと涼しくなったところに今度は台風、地震と天災が続きました。関西国際空港への連絡橋にタンカーがぶつかって橋桁がずれる、地震で火力発電所が被害を受けその影響で北海道全体が停電するなどSFの世界としか思えないような出来事がありました。備えておくと言っても人間のできることには限界があるのは十分承知の上ですが、何かが起こったときに少しでも被害を抑えるためにどうしたらいいかを考えておくことはとても大切ではないかと改めて思いました。

さてこれからは過ごしやすい季節を迎えます。食べ物もおいしい季節なので私的には“食欲の秋”に嵌らないよう過ごしたいと思います。



平成 30 年 10 月 発行

* 長崎大学眼科同門会 会報 編集委員 *

あそう眼科	麻生 順子
長崎大学	築城 英子

* 長崎大学眼科同門会事務局 連絡先 *

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

眼科・視覚科学教室内

担当 受付 ^{つねなり}恒成由美子

E-mail: tyumi@nagasaki-u.ac.jp

TEL 095-819-7345

FAX 095-819-7347